

高校時代の勉強はすべて社会に出て役に立つ

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

作新学院高校の野球部の皆さんは、甲子園で一所懸命にプレーをしてくださいました。感動しながら素晴らしいプレーを見させていただきました。来年もまた頑張って甲子園に出場していただければと思います。本当にお疲れさまでした。

2. さて、今朝の「開倫塾の時間」では、何のために勉強するのかについて少しお話をさせていただきます。

8月19日の新聞に、他の国の16歳と比べると、日本の16歳、つまり高校1年生の中には今学校で学んでいる理科が世の中で役に立っているとは思えないと考えている人が多いこと、そして、それは日本の将来にとって嘆かわしいことだというコメントが載っていました。

3. 私もそのコメントのとおりだと思います。高校で学ぶ理科には生物や地学、物理、化学、地球環境などが含まれると思いますが、これらは中学校で学習した第1分野と第2分野をもう少し細かく分けたものです。よく考えれば、高校で学ぶ生物や地学、物理、化学、地球環境などは、簡単なものから難しいものまでを含めすべての基本です。特に、これから先その仕事に就く高校生もいる医療や介護、福祉の分野は理科そのものです。これらの仕事は、生物や化学、物理などを活用して任務を全うすることが求められるからです。

4. また、第1次産業と言われる農業・林業・漁業も生物や地学の知識なくしては成り立ちません。様々なものづくりも物理や化学の知識なくしては成り立ちません。サービス産業も科学的なことを上手く組み合わせて考えないと成り立たないのです。例えば、フードサービスを提供するレストランなども科学の力がないと成り立ちません。

5. ですから、テストに出るから、具体的に言うと中間試験・期末試験・学年末試験や大学・短期大学・専門学校などの入学試験の科目として出るから高校理科の分野である生物や地学、物理、化学、地球環境を勉強するというのではなく、世の中で本当に役に立つ学問は科学、つまり science(サイエンス)であると考えてしっかりと勉強していただきたいと思います。

6. これは、ほかの教科や科目も同じです。例えば、社会は中学校では地理・歴史・公民の3分野ですが、高校では少し複雑になって、地理分野では主に世界の地理について学習します。地理の知識なくして global(グローバル)化はありえないからです。これからはいろいろな国の方々と交わらなければなりませんので、各地域・各国の地形や産業、文化などについて学ぶことが大切です。

また、歴史は、日本の歴史について学ぶ日本史と世界の歴史について学ぶ世界史とに分けて学習

します。両方を勉強しない限り、これから先日本で豊かな生活を送ることはできませんし、世界の方々と交流することも難しくなります。例えば、中国の歴史がわからずに中国の方々と仕事をしたり交流したりするのは難しいです。ほかのアジアの国々も同様です。その国にはその国独自の歴史があり、特有の地理がありますので、交流するときにはその国の歴史や地理をしっかりと勉強してからでないといよい交わりはできません。

7. それから、高校の社会には政治経済や倫理社会という科目もあります。高校社会で最も大事な科目は現代社会と言われますが、一番難しいのは倫理社会ですよね。これは、ものごとにはどのような考え方があるのかというもので、日本の倫理の考え方・世界の倫理の考え方はそれぞれです。世界の中には東洋も入りますので、例えば中国の方々はものごとに対してどのような考え方の基礎を持って行動しているのかについては、論語としてまとめられた孔子の教えなども非常に奥深いものがありますので、このようなものをもとにして勉強していただきたいと思います。政治経済では、日本国憲法のこと・日本の経済のこと・世界の経済のこと・国際関係のことなどについて詳しく勉強しますので、これらも非常に役に立ちます。

8. このように、理科も社会も世の中に出て本当に役に立ちます。難しい模擬試験を受け、高校入試を経て、せっかく高校に進学したのですから、今自分の勉強している内容が社会に出てどのように役に立つのかを少し考え、自分の学ぶべきことを高校時代のうちにしっかりと勉強していただきたいと思います。

9. もちろん小学校時代や中学校時代に勉強したことも世の中に出て役に立ちますが、一番役に立つのは高校時代の勉強ではないかと私は思います。その一例として、英語は読んだり聞いたりするだけでなく、書いたり話したりすることも非常に大事だということで、高校では英語の授業を英語でしています。文部科学省から「高校の先生は英語の授業を英語でするように」という指導がありましたので、かなり多くの高校の英語の先生は英語で授業をしています。そして、高校生の英語を読む・聞く・書く・話す能力を高めるために力を注いでいます。ですから、高校生の皆さんはこれ以上勉強しなくてもよいというくらいまで英語を勉強して身に付けていただきたいと思います。

10. また、国語の分野の一つである古文や漢文は高校時代に一番多く勉強します。この時期に日本の古文や中国の古典である漢文を勉強しないで社会に出たり、大学・短期大学・専門学校などに進学したりすると、そこではほとんど勉強する機会がありません。ですから、ぜひ高校時代に古文と漢文をしっかりと勉強していただきたいと思います。

11. 数学も同様です。高校数学の中の統計・確率がわからないと、コンピュータのエクセルやワードがだんだん難しくなってくるとそれに対応できません。エクセルやワードは統計・確率の知識がなくては先に進めず、エクセルやワードができなければ仕事が成り立ちません。コンピュータに一番役に立つのは高校時代に学ぶ統計・確率ですので、数学の勉強も決しておろそかにしないでいただきたいと思います。

12. 今日は、高校時代の勉強は世の中に出て役に立つというお話をさせていただきました。理科も社会も英語も国語も数学もすべて役に立ちますので、ぜひ高校時代に必要な勉強をしていただければと思います。

